◎債務救済措置に関する日本国政府とアルゼンティン共和国政府との間の 二の交換公文

(略称)アルゼンティンとの二の債務救済措置取極

平成 四年 二月二十八日 告示平成 四年 一月二十八日 効力発生 平成 四年 一月二十八日 効力発生

○日本輸出入銀行関係の債務救済措置に関する日本国政府とアルゼンティン共和国政府との間の交換 アルゼンティン側書簡 付表 5 3 2 目 繰延債務の額 過去に繰り延べられた債務の利子の支払 債務救済措置 繰延債務の内訳 次 ~ ージ 九八七 七五 五五五

○商業上の債務についての債務救済措置に関する日本国政府とアルゼンティン共和国政府との間の交換

アルゼンティンとの二の債務救済措置取極

ア	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日本	八
アルゼンティン側書簡	協議									日本側書簡	公文:
ティン		債務繰延べの第三国より不利でない条件	原契約の継続	原契約に従った債務の決済	銀行手数料	過去に繰り延べられた債務の利子の支払	延滞利子の支払	債務の支払	債務救済措置の対象		
の側書		の第		化った		り延べ	支払		指置の		
		三国よ		債務の		られた			対象		
		り不利		決済		債務の					
		でない				利子の					
		条件				支払					
		i									
								:			
		:									
							2		 		_
0	二八	二八	二八	<u>二</u> 七	二七	二七	五	四	Ξ	Ξ	\equiv

の繰 額延 債務

日 ア 本 ル 輸 ゼ 出 入銀 ン テ ィ 行 関 ン 共 係 和国 の債 政 務 府 救 ع 済 措 の 間 置 の交換公文) に 関 する日本

国

政

府

日 本 側 書 簡)

(訳

解 府 を 和 到 を確 国政 達し の代 八日及び十 書簡 た結 表者 ま を 認する光栄を有します。 府 す の もって 代 論 ٤ 本使 九日 表 に 関 啓 係 者 基 は、 にパ ح づき F 債 の 権 11 更に、 IJ 間 日 諸 たします。 で行 本 で 国 国 政 開 当該 政 催 わ 府 の さ n 府 代 n 交渉に た の 本 最近 代表 表者 たア 使 は、 お の 者 ٤ ル 交渉に ゼ ٢ い の 千 て到 ンテ 九百 P 間 ル の 1 達 九 言 ゼ 協 î 及す ンテ ン 議 共 た に 次 る 1 和 お 年 の了 光栄 ン共 九 11 玉 て 政 月

1 法 関 令に 係 債 民 務 間銀 繰延 従 ってとられ 行 方 式による債務 (以下 ることに 銀行」という。)に 救 なる。 済措置が より、 日 本 輸 日 出 入銀 本 玉 行 の 関係 及び

2 (1) は 繰 り延 五八九、 五十億二千五百五十八万九千五百二十二円 られ 五二二円)と見積もられる。 る債 務 (以下 「繰延 債 務」と い う。)の総額 五、 0

負 ン 国 う 立銀 延 債 の 行 務 債 及 は、 務 並 び 北 アル び に バ サル タゴニア水力 ゼンテ 1 グ 1 ラ ン ン 共 発電 デ 和 共 国 同技 会社 政 府、 術 から 委 銀 ア 員 行 ル 会 に ゼ 対 から ン して テ 銀 行

(Japanese Note)

Buenos Aires, January 28, 1992

Excellency,

countries concerned held in Paris on September of the Government of the Argentine Republic confirm the following understanding reached in and of the Governments of the creditor of the Argentine Republic that were held on the course of the said negotiations: 18 and 19, 1991. I have further the honour to the Government of Japan and of the Government negotiations between the representatives of the consultations between the representatives the basis of the conclusions reached during I have the honour to refer to the recent

and regulations of Japan. Banks") in accordance with the relevant laws concerned (hereinafter referred to as "the rescheduling will be taken by the Export-Import Bank of Japan together with the private banks 1. A debt relief measure in the form of

eighty-nine thousand five hundred and twenty-two yen (\$5,025,589,522). billion twenty-five million five hundred Rescheduled Debts") is estimated at five (1) The total amount of the debts to rescheduled (hereinafter referred to "the

Argentina, Hidroelectrica Norpatagonica, S.A. following debts owed by the Government of the Argentine Republic, Banco de la Nacion The Rescheduled Debts consist of the

」という。)に掲げるものから成る。 対 して 当事 のに限る。)であって、 者 負う次 及び保証人の同意 の 債 務 (アル ゼンティ を得てそれらの この書 簡の付表(以下「付 ン 共 和 負担を引き 国 政 府 から 原 受 契

- 回 過去に繰り延べられなかった債務であって、
- た未払のもの
 ・ たれ百九十一年九月三十日以前に弁済期限が到来し
- (ii) 十日 か又は到 干 ま 九百 で 九十 の 来するもの 間 一年十 (両 期 日 月 を含む。)に弁済 一日から千 九百 期限 九十二年六 が到 来した 月三
- (b) 延 月二十六日 0 べられ 間 千九百八 で交換され た債 に日本国政府とアルゼンティ 十五年十一月十二日及 務であって、 た書簡により行われ び千 た取 九 ン共 極に 百八十 従 和 って繰り 九 玉 政 年 府と 十二
- (i) た 未 九百九 払 の to 十一年九月三十日以 0 前 に 弁 済 期 限 から 到 来
- (ii) 十日 か又は到 千 まで 九百 九十 来 の 間 するも (両期 一年十 月一 B を含む。)に 日から千九百 弁済 期限 九 十二年六 から 到 来 した 月三
- (2)ア ル ル (1) にい ゼンテ の ラン う総 合 日 ィ 本 ン国 額 国 デ共同 より修正されることが 及 政 一立銀行 び付表 府 技術 及びアル は、 委員会並 北 ゼンティ パタゴニア水 アルゼンティ び に 銀 ン共和 行 力発 ン から 行 玉 共 う最 電 和 政 会社 府 王 終的 0 政 関 及 府 照 係 び

and the Comision Technica Mixta de Salto Grande (for which the Government of the Argentine Republic will assume liability with the consent of the parties and guarantors to the original contracts) to the Banks, the breakdown of which is shown in the list attached hereto (hereinafter referred to as "the List"):

- (a) The debts not previously rescheduled,
- (i) having fallen due on or before September 30, 1991 and not paid, and
- (ii) having fallen or falling due between October 1, 1991 and June 30, 1992, both dates inclusive;
- (b) The debts rescheduled pursuant to the arrangements made by the Notes exchanged between the Government of Japan and the Government of the Argentine Republic on November 12, 1985, and December 26, 1989,
- (i) having fallen due on or before September 30, 1991 and not paid, and
- (ii) having fallen or falling due between October 1, 1991 and June 30, 1992, both dates inclusive;
- (2) Modifications may be made to the total amount referred to in sub-paragraph (1) above and the List by agreement between the authorities concerned of the Government of Japan and of the Government of the Argentine Republic, after the final verification to be made by authorities concerned of the Government of the Argentine Republic, Banco de la Nacion Argentina, Hidroelectrica

- 3 行、 つ 府と他 債 北 方 バ 繰 タ に か 延 おい んずく ゴニア水力 ~ の て銀 条 次 の原 行 は、 ح 発 則 の 電 間 会社及 方にお を含むもの で締 結さ び い ア T にお n ル ア ル る ゼ 債 ン ゼ 11 て テ 務 ン 規 テ 繰 1 定 延 ン 1 さ 共 契 ン 約 和 n 围 る。 で 国 立 あ 政 銀
- (1) 三十日 2 (1)に始まる八 (a) 及 び (b) に い の均等半年賦払 う債務 の 総 額 は、 に ょ 干 九百 2 て支払 九 十八 わ れる。 年九月
- (2)(a) む。こに か 務繰 ら千九 繰 延 適用 延契約に定める利子率に等し 債 百 務 に される利子率は、各々 九十一年九月三十日ま 対して付表に掲げる の借 各 で 11 Þ の 款 to の 間 のとする。 契約又 初 (両 0 は 期 弁 各 日 済 を 期 Z 含 日 0
- (b) 用 又は千 さ 繰 n 延 る 九百九十一年十月一 債 務 子 に 対 は、 して付表に 年 日の 掲 五 バ げ る 1 11 ずれ 各 セ ント Þ の か 遅い とす 当初 時 る 0 点 弁 済 か 5 期 適 日
- 4 パ 国 百 が 九十 ŋ 政 銀 9 P 行に ゴニア水力 九十二 府 ゼ 5 年二 0 対 ン 年三月三十一日ま n 間 L テ た で 月二十七日 T 1 発電 債 交 負 ン 換 う債務 共 に関 され 会社 和 玉 につい に日本 及び た 政 書簡 府 サ で 千 ルト 九百 の によ 国 て アル 間 の 政 九十 り行 府 債 グラン ゼ (両 とア 務 ン 期 テ 救 わ デ 1 日 ル 済 年 n 四四 共同 を た ゼンテ 措 ン 含 月 取 玉 置 — 日 極 む に 技 立 こに 1 術 に 関 銀 し千九 か 従 委員 ン 行 弁済 5 共 0 千 T 和 会 北

Mixta de Salto Norpatagonica, S.A. and the Comision Grande, and the Banks and the Comision

- which will contain, inter alia, the following on the one hand and the Banks on the other, and the Government of the Argentine Republic Argentina, Hidroelectrica Norpatagonica, S.A., will be stipulated in rescheduling agreements principles: 3. The terms and conditions of the rescheduling to be concluded between Banco de la Nacion
- September 30, 1998. semi-annual installments beginning paragraph 2 will be paid in eight in (a) and (b) of sub-paragraph (1) of (1) The total amount of the debts referred (8) equal

6

- agreement. agreement or in the respective rescheduling interest stipulated in the respective loan inclusive, will be equal to the rate of the List and September 30, 1991, both dates between each original due date mentioned in Rescheduled Debts, applied for the period (2) (a) The rate of interest on the
- whichever is the later, will be five per cent (7.5%) per annum. mentioned Debts applied from each original due date (b) The rate of interest on the Rescheduled in the List or October 1, 1991, seven point
- and the Comision Tecnica Mixta de Salto Grande Argentina, Hidroelectrica Norpatagonica, S.A. respect to the debts owed by the Government concerning the debt relief measures with Argentine Republic on February 27, 1991 Government of Japan and the Government of debts rescheduled pursuant to the arrangements the Argentine Republic, Banco de la Nacion made by the Notes exchanged between the It is confirmed that, with respect to the

千九百九十二年三月三十一日から四半期ごとに行われる。 九十二年一月三十一日に行われ、 により支払われることが確認される。 期 限 が到 来したか又は到 来する利子の総額 引き続き行われる支払は、 最初の支払は、 は、 六回 の均等払 千九百

5 む。 関 日 《係債 本国政府とアルゼンティン共和国政府との間 続又は修正に r の再編に ル 権 ゼンテ 諸 国 政 関 1 つ 府 してアルゼンティン共和国政府の代表者及び ンの W の て討 代表者が新たな結論に 債 務 議するための協議 (この取極が対象とするものを含 が行 達した場合には、 われ でこの取極 る。 0

わ って確認され 本使は、 閣下が前記の了解をアルゼンティン共和国政府に代 n ば 幸 いであります。

意 を表します。 本使は、 以上を 申 L 進 め るに際 L, ここに 閣 下 に向 か っ て 敬

千九百九十二年一月二十八日にプエノス・アイレスで

アルゼンティン共和国駐在 日本国特命全権大使 川 本: 学

アルゼンティン共和国 外務・宗務大臣 ギド。ディ・テラ閣下

> quarterly beginning on March 31, 1992. will be paid in six equal installments. having fallen or falling due between April 1, 1991 and March 31, 1992, both dates inclusive, 1992. The consecutive payments will be made first payment will be made on January 31, to the Banks, the total amount of the interest

of the Governments of the creditor countries modification of the present arrangements. order to discuss the matter of continuation or Argentine debts including the debts covered by concerned come to a new conclusion in be held between the Government of Japan and the present arrangements, consultations will connection with reorganization of the the Argentine Republic and the representatives 5. If the representative of the Government of the Government of the Argentine Republic, in

Republic. behalf of the Government of the Argentine would confirm the foregoing understanding I should be grateful if Your Excellency on

highest consideration. extend to Your Excellency I avail myself of this the assurance of my opportunity to

(Signed) Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to the Argentine Republic Manabu Yamamoto

Minister of Foreign Affairs His Excellency the Argentine Republic Worship of Guido Di Tella

Mr.

過去に繰り延べられなかった
價扬

	小	子九百八十一年八月 子九百九十一年 九月十五日 十日に北人クコニア 子九百九十一年 二月十五日 大力発覚会社と現行 との間で締結された 借款契約に従って支 払われるべき元本及	fi fi o p	費券の日
8†	2+	千九百九十一年 4	j Si	î F
		育士五日	E	
八四九	八四九	器、九〇區 九〇四	元	
八四、九八、〇〇円	八四、小八、〇〇円	四0七 哭九 〇〇月	本	
HCH.	丟	<u>+</u> -	利	
三六三、七五八、三九三两一、一七八、六九六、三九三两	三方:七六、三九三月 一、一七八、六九八三九三月	五人、大人、二十八	7	额
ー・一大	た、	五 八	合	
六九六、三九三亩	六九六、三九三	天〇, 四六, 二十百	計	

春間により行われた取儀に従って繰り端べられた債務

	三十日にサルトグラ・エンキ共同技術委員会 エンチ共同技術委員会 エンチ共同技術委員会 エンチ共同技術委員会 エンチ共同技術委員会 エンチ共同技術委員会 エンチ共同技術委員会 エンキュー イン・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・	小	千九日八十八年八月 - 千九日 (アルゼンティ 大日にアルゼンティ 大日にアルゼンティ 大日 (京都行と日本絵 土) 種 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (部の内部	3
it	千九百九十一年 千九百九十一年 千九百九十一年 千九百九十二年	#t	于九百九十一年 于九百九十一年 千九百九十 年 年	排泄	ş
1	東京分 方 一一一一		异异分方 □□□□	8	
小七、六六、000円	144, 141, 0008	型、五〇二、〇〇〇円	田 田 田 田 田 田 田 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	元本	
大、四八、一公南	八十、九四三、三五二円	三五、三八、二八八円	二、七九、五八円	利子	額
一七八四八、一小两一、〇五、六四、一小两	144 八 、〇〇円 124 八 、八三八 、〇〇円 144 八 、〇〇円 147 八 、八五兵 三二円 154	110、100、1八八月	三、大田、OOO用 「大」 三 五、大OH 三、大田、OOOH 「天、六六、五 下H	合 3計	

Dabte rescheduled pursuant to the Arcangements made by the Notes exchanged between the Government of Japan and the Government of the Argantine Republic on November 12, 1985

Particulars of principal and interest	Due Date		Amount (in Yen)	Yen)
		Principal	Interest	Total
The principal and interest payable	1991,7,1	32,864,000		32,864,000
under the Rescheduling Agreement	1991,8,1	14,887,000	13,438,760	28,325,760
concluded between Banco de la Macion	1992,1,1	32,864,000		32,864,000
and EXIM-Japan on June 6, 1986	1992,2,1	14,887,000	11,799,528	26,686,528
(R/A for BNA)		95,502,000	25,238,288	120,740,288
The principal and interest payable	1991,7,1	177,281,000		177,281,000
under the Rescheduling Agreement	1991,8,1	236,352,000	96,484,832	332,836,832
concluded between Comision Tecnica	1992,1,1	177,281,000		177, 281,000
Mixta de Salto Grande and EXIM-Japan	1992,2,1	236,352,000	81,943,351	318,295,351
on July 30, 1986 (R/A for CIM No. 1)		827, 266,000	178,428,183	1,005,694,183

Debts not previously rescheduled

TISE

The principal and interest payable under the Loss Agreement concluded between Hidroelectrics Morpatagonics S.A. and the Banks on August 10, 1981

1991,9,15

190,789,177 363,758,393 363,758,393

1,178,696,393 1,178,696,393 598,258,177 580,438,216 Total

TOTAL

Particulars of principal and interest

Due Date

Principal 407,469,000 814,938,000 814,938,000

Interest

Amount (in Yen)

アルゼンティンとの二の債務救済措置取極

-	7	7
1	-	7
ŧ		
	•	-

	小	1 千九百八十八年七月 千九百八十一年 三十日に北バクジニ 千九百九十一年 三十日に北バクジニ 千九百九十 三 行との間で締結され 千九百九十 三 日の民の公民に係 る民/人)に従って 支払われるべき元本 及び利子	小	三十日にサルトグラ 三十日にサルトグラ ンデ共同技術委員会 と根行との間で務員会 とれた傾荷機延辺約 (CTM第二号に係 るR/A)に従って 支払われるべき元本 及び利子
21	2t	千九日九十一年 千九日九十一年 年九日九十一年	21	1. 九百九十二年 1. 九百九十二年 1. 九百九十二年 1. 九百九十二年
•		東京分 育 ローロー		一一一一
二, 〇八三, 下四, 〇〇〇世	111回、0元0、000円	日	九 天、八九六、〇〇〇円	- 元五、4.7.5、000円 - 九七、4.7.5、000円 - 元五、五七、000円
四七、三四、八五河	六七、九七、一九四円	三五、九九五、五 〇円	一九九、六三一、一八八円	九二、六六八、〇〇三円
四七、二五四、八五三円一二、五五五、〇〇八、八五三円	11011、0四十、14四日	九六、八四四、〇〇〇円 五六、八四四、〇〇〇円 九六、八四四、〇〇〇円 五十、一九六、五 〇円	一九九、六三、一八八円 一、二 天、五 七、一八八円	- 九七、八九、〇〇円 - 九七、八九、〇〇円 - 九七、八九、〇〇円 - 元七、二四七、〇〇三円

The principal and interest payable under the Rescheduling Agreement concluded between Hidroslectrica Morpatagonica, 5.A. and the Banks on July 10, 1986 (R/A for HIDRONOR)

1991,7,1 1991,8,1 1992,1,1 1992,2,1

96,844,000 20,201,000 96,844,000 20,201,000 234,090,000

31,995,520 67,957,194 471,254,853

199,631,188

197,542,185 197,549,100 197,549,000 257,247,003 1,126,527,188 96,544,000 56,544,000 52,162,540 32,196,520

TATOT

2,083,754,000

2,555,008,853

The principal and interest payable under the Rescheduling Agreement concluded between Comision Tecnica Mixta de Salto Grande and the Banks on July 30, 1986 (R/A for CTH Mo. 2)

1991, 7, 1 1991, 8, 1 1992, 1, 1 1992, 2, 1

197,869,000 265,579,000 197,869,000 265,579,000

91,668,003

926,896,000

書類により行われた取極に従って織り延べられた債務

##	2÷	小 31	係るR/A類 専		R/A第1号 千九百九十二年 五月十五日 千九百九十二年 五月十五日	小計	R/A郭二号	小計	第一写 千九百九十二年 五月十五日 第一写 千九百九十二年 五月十五日	務の内訳 弁済期日
										元本
	一、二无一、八八四、二七六円一、二无一、八八四、二七六円	三五九七四五〇円	二九、〇四、公六円二九、八八円	四八〇、八九〇、三四四円	一大八、七八、〇二十八八八八十八八、七八、七八、八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	四五、六五、五〇円	四四、九四二、〇五二円 四四、九四二、八四四、一四八、六八三円	一五、六三、八七 戸	五、二〇一、七公四五、二五八、九、六四五、二七二、一七三、一八四四	t.; 张
五、〇五、五九、五三 <u>河</u>	一、二九一、八八四、二七六円	三五、七四、五〇門	九、六九 、 二八六円	四八〇、八九〇、三四四円	一大、七二、〇二十八二六、七二、〇三、七四八八十八十四、五九八二四、五九八八	四五、六五、五五八円	1四四、九四三、八二四四、九四三、九四三、九四三、八二四四、八二四四、八二四四、八二四四、八二四四、八二四四、八二四四、八二	一五、六三、八七 山	五二〇、大四八九八九八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	â th

heduled pursuant to the Arrangements made by the Notes of Government of Japan and the Government of the Argentine
Arrangements made by the Notes the Government of the Argenti wher 26, 1989
rrangements made by the Notes he Government of the Argenti her 26, 1989
Rotes

List

Particulars of principal and interest	Due Date		Amount (in Yen)	(en)
		Principal	Interest	Total
	1991, 5,15		5,173,182	5,173,182
R/A No. 2 for BNA	1991, 11, 15		5,258,926	5,258,926
	1992, 5,15		5,201,764	5,201,764
			15,633,872	15,633,872
	1991, 5,15		144, 146, 663	144, 146, 633
R/A No. 2 for CIM No. 1	1991, 11, 15		146,535,834	146,535,834
	1992, 5,15		144,943,053	144,943,053
			435,625,550	435,625,550
	1991, 5,15	70.5	159,124,593	159,124,593
R/A No. 2 for CTH No. 2	1991, 11, 15		161,762,017	161,762,017
	1992, 5,15		160,003,734	160,003,734
			480,890,344	480,890,344
	1991, 5,15		119,034,638	119,034,638
R/A No. 2 for HIDRONOR	1991,11,15		121,007,586	121,007,586
	1992, 5,15		119,692,286	119,692,286
			359,734,510	359,734,510
TOTAL			1,291,884,276	1,291,884,276

(訳文)

次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。書簡をもって啓上いたします。本大臣は、本日付けの閣下の

日本側書簡)

ィン共和国政府に代わって確認する光栄を有します。本大臣は、更に、閣下の書簡に述べられた了解をアルゼンテ

敬意を表します。 本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに閣下に向かって

千九百九十二年一月二十八日にブエノス・アイレスで

アルゼンティン共和国

外務・宗務大臣 ギド・ディ・テラ

アルゼンティン共和国駐在

日本国特命全権大使 山本 学閣下

(Argentine Note)

Buenos Aires, January 28, 1992

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honour to confirm on behalf of the Government of the Argentine Republic the understanding set forth in Your Excellency's Note.

I avail myself of this opportunity to extend to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Guido Di Tella Minister of Foreign Affairs and Worship of the Argentine Republic

His Excellency
Mr. Manabu Yamamoto
Ambassador Extraordinary and
Plenipotentiary of Japan to
the Argentine Republic

商 府 業 とア 上 ル の 債 ゼ 務 ン につ ・ティ 11 ン て 共 の 和国 債 務救済措 一政府 بح 置に関する日 の 間 の交換公文) 本国政

(日本側書簡)

訳文)

解 和 到 府 + を 玉 達 書簡 有 八日及び十 の代表者 政府 確 します。 した結 認 をも の する光栄を 代 論 بح 2 に て 関 表者との間 本使は、 九 日に 啓上 基 係 づ 債 き日 パリ 有します。 権 更に、 諸 たしま で行 1本国 で開 国 政 す。 当該交渉にお わ 府 催 政 府 n の さ た最 の代 代表 n 本使 たアル 近の 表者 者と は、 いて とア 千九 交渉に ゼ 0 間 ン テ 到 ル 百 0 達し 言及 九十 1 ゼンテ 協 ン共 議 た次 する光栄 に 1 和 お 年 の了 ン共 九 W 玉 て 政 月

1 (1) 契約され 住者であ 元本及 企 業 この 務」と総称する。)の総 (以下「債 び利子であって、 取 極 る 関係 は、 日本 国 債権者 務者」という。)と他方にお 一方にお 政 府 から (以下「債 保険 額 いてアルゼンティ 次に掲げるも に 適用 を引 され き受け 権者」とい の た商 ン 以下「繰 い て日 共和 業 うごとの 上 本国 一の債 围 延 の 商業 間 の居 務 政 0 で 府

(a) n 前 債 務 に 契 者と債 約 さ 権者との間で千九百八十三年十二月十日 れ 弁済 期 間 から 年を 超 える 商 業上の 債 務 ょ

(Japanese Note)

Buenos Aires, January 28, 1992

Excellency,

I have the honour to refer to the recent negotiations between the representatives of the Government of Japan and of the Government of the Argentine Republic that were held on the basis of the conclusions reached during the consultations between the representatives of the Government of the Argentine Republic and of the Governments of the creditor countries concerned held in Paris on September 18 and 19, 1991. I have further the honour to confirm the following understanding reached in the course of the said negotiations:

1. (1) The present arrangements will apply to the total amount of the following principal of and interest on the commercial debts contracted between the governmental corporations of the Government of the Argentine Republic (hereinafter referred to as "the Debtors") on the one hand and the creditors concerned resident in Japan (hereinafter referred to as "the Government of Japan (hereinafter jointly referred to as "the Rescheduled Commercial Debts"):

(a) With respect to the commercial debts with a repayment period of more than one year contracted before December 10, 1983,

- (ii) か又は到 十日までの間 九百 来する元本及び利子 九 + (両期日 一年十月 を含む。)に弁済 日 から千九百九十二年 期限が 到 ·六月三 来した
- (b) 上の 十一月十二日 国政府 の債務 日本 ·国政 ょ 務に に関し、 り行われた取極に従って繰り延べられ アルゼ つい 及 が ての ンティ 保険を引き受け び千九 債 百八十九 ン共和国 務救済措 政府との 年十二月二十六 置に関し千 たアル ゼンテ 間 九百 で交換され ィ ンの 日 八十 た商業 に 日 五 た 本 年
- た未払の元本及び利子は、千九百九十一年九月三十日以前に弁済期限が到来し
- (ii) + 又は到 日ま 千 九百 で 来する元 の 九 間 + 一年十 (両 本 期日を含む。)に弁済期限 及び利子 月一日 から千九百九十二年六月三 が到 来 した
- (2)の 総額 、国ド 延 は、 商 ル 業債 によって契約されたものから成 次 のとおりと見積もられ 務 は、 日本円によって契約 る。 る。 され 繰 たもの及び 延商 業債 務 合
- (a) 千八百九十二万千七百七十八円 た ŧ 七八円)である。 (1)のであ (a) (i) 及 っ び て、 (ii) にい そ の元本及び利子の う債 、務は、 日 九、 本円によって契約 総額は、 四一八、 九十四億 3 れ

- not previously rescheduled,
- (i) the principal and interest having fallen due on or before September 30, 1991 and not paid, and
- (ii) the principal and interest having fallen or falling due between October 1, 1991 and June 30, 1992, both dates inclusive; and
- (b) With respect to the commercial debts rescheduled pursuant to the arrangements made by the Notes exchanged between the Government of Japan and the Government of the Argentine Republic on November 12, 1985 and on December 26, 1989 concerning the Argentine commercial debts insured by the Government of Japan,
- (i) the principal and interest having fallen due on or before September 30, 1991 and not paid, and
- (ii) the principal and interest having fallen or falling due between October 1, 1991 and June 30, 1992, both dates inclusive.
- (2) The Rescheduled Commercial Debts consist of debts contracted in Japanese yen and in United States dollars. The total amount of the Rescheduled Commercial Debts is estimated as follows:
- (a) The total amount of the principal and interest referred to in sub-paragraph (1)
 (a) (i) and (ii) above is nine billion four hundred eighteen million nine hundred twenty-one thousand seven hundred and seventy-eight yen (¥9,418,921,778) for the debts contracted in Japanese yen.

- (b) 七円)、 ょ って ては、 七万五千九 (1)(b) 契約さ (i) 六百五十六万千六百五十三合衆 また、 及 五六一、 び 百五十七円 れ (ii) た債 合 に 衆国ド 11 六五三・二一合衆国ドル) う元 務 に ル 本及 つ いて によって び は、 利子 契約 、五六、 百十八億五 0) 総 国ドルニ十 3 額 れた は、 四七 であ 五、 千六 債 日 務 本 ーセ 九五 百四四 円 つ に
- (3)関 ン 共 係 (2)和 (a) 玉 及 局 間 政 CF (b) の 府 の関 に 合 意により修 い う総 係当局が 額は、 正 行う最終的照合 さ 日 れることがあ 本国政 府 及 び の る。 後に アルゼ 両 政 ン 府 テ 1 0
- 2 (1) 支払計 央銀行 アル 額 及 画 を ゼンティン共和 び 通じて、 (以下 日 付 に 「支払計画 つい 延 て日 商業 国政府は、 本国 債務を決 」という。)に 政府 アル 済 に 通 ゼ す ンテ 告 従 る す つ た る。 て行 め 1 (4)ン共 に わ 和 定 れる支 め 国 る 中
- (2)約に 計 P 者 よって ル 画 から ゼンテ 従 支払うことを確 指 い 定さ ア 1 ン共 ル れた通貨により債 ゼンティン共和国中 和 玉 政 保する。 府 は、 繰延 権 者に 央銀行 商 業 支払 債 を 務 の総 通じ関係契 11 額 ま た、 を支
- ③ 日本国政府は、商業上の関係債務が支払計画に従って行

- the and fifty-seven yen (¥11,856,475,957) for dollars and twenty-one cents hundred seventy-five thousand nine hundred eight hundred fifty-six million four interest referred to in sub-paragraph (1) <u>b</u> (US\$6,561,653.21) for the debts contracted 6 hundred million five hundred sixty-one thousand debts contracted in Japanese yen, and The total amount of the principal (i) and (ii) above is eleven billion and fifty-three United States and
- (3) Modifications may be made to the total amount referred to in sub-paragraph (2) (a) and (b) above by agreement between the authorities concerned of the Government of Japan and of the Government of the Argentine Republic, after the final verification to be made by the authorities concerned of the two Governments.

in United States dollars.

- 2. (1) The Government of the Argentine Republic will notify the Government of Japan, through the Central Bank of the Argentine Republic, of the amount and the dates of payments which will be made in order to settle the Rescheduled Commercial Debts in accordance with the payment scheme as set out in subparagraph (4) below (hereinafter referred to as "the Payment Scheme").
- (2) The Government of the Argentine Republic will pay through the Central Bank of the Argentine Republic, or will ensure that the Debtors pay, the total amount of the Rescheduled Commercial Debts to the Creditors in the currency or currencies designated in the contracts concerned in accordance with the Payment Scheme.
- (3) The Government of Japan will take possible measures, within the scope of the

をとる。 わ 玉 に れる支払によ お 11 て 施 行 さ り決済されることを容易に n T いる 関係法 令 の 範 囲 するた 内 で 可 め、 能 な 日本 措 置

- (4)1 の (1) 均 に 等 い う債 半 年 賦 務 払 は、 に 千九百 よって支払 九 十八 わ n 年 る。 九月三十 日 に 始 まる
- 3 (1)う。 ろに て、 ア より ル 当該 ゼ 算 ン 定され テ 債 務 1 が ン る利子を次の計 決済され 共 和 玉 政 てい 府 は な 画 11 商 限り、 に従って債 業上の (2)債 に 務 権者 定め の各 に支払 るとこ Þ につ
- 九百九十二年九月三十日から半年ごとに行われる。 ゆ 最初の支払の後に引き続き行われる利子の支払は、エ
- (2)(a) 利 えたも 長 に 期最 につい よって 繰延 に年〇 の 優 商 遇貸出 とし、 契約さ 業 ては、 ・三パ 債 務 また、 に対 金 適 n 利 た 1 用 債務 する支払 セ 可 (年利)に 能 ントを 合 衆国 なロ に つ ンド い 加 ۴ 計 年〇 ル ては、 えたも 画 上の ン に 銀 よって • 行間 三パ 適用 の 利 とする。 子 率 取引金 契約さ 1 可 は、 能 セント な n 利 B 日 本円 た を 本 年 債 加 円
- (i) 日 本 う。)と 日本 王 円 の は 銀 長 期 行 こ に 最 0 ょ 優遇貸 書 ŋ 毎 簡 の中 出 年三月三十 金 で用 利 **(**以 11 る 下 とき 日 及び九月三十 最 は 優 遇 い 金 つでも、 利 \Box

relevant laws and regulations in force in Japan, to facilitate the settlement of the commercial debts concerned by the payment to be made in accordance with the Payment Scheme.

- (4) The debts referred to in sub-paragraph (1) of paragraph 1 will be paid in eight (8) equal semi-annual installments beginning on September 30, 1998.
- 3. (1) The Government of the Argentine Republic will pay to the Creditors, the interest to be calculated as described in subparagraph (2) below on each of the commercial debts to the extent that they have not been settled, in accordance with the following schedule.
- (a) The first payment of the interest will be made on January 31, 1992; and
- (b) The consecutive payments of the interest after the first payment will be made semi-annually beginning on September 30, 1992.

(S)

- (a) The rate of interest on the Rescheduled Commercial Debts applied for the Payment Scheme will be nought point three per cent (0.3%) per annum above the applicable Japanese yen long-term prime lending rate (per annum) for the debts contracted in Japanese yen and nought point three per cent (0.3%) per annum above the applicable London inter-bank offered rate (per annum) for the debts contracted in United States dollars.
- (i) The Japanese yen long-term prime lending rate (hereinafter referred to as "the prime rate") means, whenever used in this Note, the rate applied as such by banks of Japan on March 31 and

用 以 さ n 下 るも 基 の 準 を 意 ٢ 味 する 総 称 する。)に 最 優 遇 金利 ٤ L T

適

- (ii) る六 ンド う。)と を 口 箇 味 ン ン する。 は 月の貸出 銀 ۴ 行 ン Z 間 市場 の 行 L 書 間 に に 簡 取 L I お 引 の 中で用 VI 金 て銀 BORとし 利 **(**以 行に い る 下 とき ょ L て ŋ 合 は Ι 適 用さ 衆 VI В 玉 0 つ R n で K る ル に to ۷ 0 ょ 口
- (iii) R n 能 以下 で の T あ 基 V 最 る。 ない 優遇 準 一金 日 利 限 金利又は 一に始 n, 特 定期 ま か り次の基 間」 つ、 L とい 当該 В 0 準 うごにお 最優遇金 R 日の前日に終 は、 関 利 係 11 又は て 債 の 務 わ 2 L から る 適 Ι 決 用 期 В 済 間 可 0
- (b) L 適 務 決 一用 Ι から 済 口 金 六十五 В 能 可 支 0 0 な 能 払 関 特 R 利 わ 定 な 係 利子 一で除 子率 期 n 債 年 な 務 間 利) 率を L は 0 の ま て算 額 に に 適 乗 ま に 用 U 定され 0 に 当 つ VI • 可 T 該 三パ 算出 能 過 T 金 る。 支 な 利 L さ た日 1 最優遇 払 特 n セ 定 わ ント る。 数 期 n 金 及 間 る 利 利 び を に 日当たり 日 お 子 加 年 え 0 い たも 利 当 T 額 た は 又 Ó ŋ の 該 は 適 を 0 債 未
- (c) る。 合に の 各 関 Þ は 係 債 つい 支払 務 から わ て算定された利子の額 ーの れる 金 利 利 子 特 の 定 額 期 は、 間 を超え 関 を合計 係 て未 する した 金利 決済 であ も 特 の 定 期 بح る な 間 場
- (d) P ル ゼ ン テ 1 ン 共 和 国 一政府 は、 支払 計 画 (1) に 定 8 る

- September 30 each year (hereinafter jointly referred to as "the base dates").
- (ii) The London inter-bank offered rate (hereinafter referred to as "the LIBOR") means, whenever used in this Note, the rate applied as such for six months lending in United States dollars by banks in the London Inter-Bank Market on each of the base dates.
- (iii) Each prime rate or LIBOR is applicable only during the period beginning on the base date for that prime rate or LIBOR and ending on the previous day of the next base date (hereinafter referred to as "the rate fixation period"), insofar as the debt concerned remains unsettled.
- (b) The amount of interest to be paid with respect to a particular rate fixation period will be calculated by multiplying the amount of the unsettled debt concerned by the product of the number of the days the debt has not been settled in the said rate fixation period and the applicable daily interest rate. The applicable daily interest rate or LIBOR (per annum) with the addition of nought point three per cent (0.3%) by three hundred and sixty-five (365).
- (c) In case where the debt concerned has remained unsettled beyond one rate fixation period, the amount of interest to be paid will be the total of the amount of interest calculated with respect to each of the rate fixation periods concerned.
- (d) In case where any payment under the

原契約に

6

4

未 払額 セン か ٢ を加 5 生 ずる えた利子率によって支払う。 遅延 利 子を (2) (a) に V う利 子 率 に 年 パ

利

子の

支払計

画

を含む。)上の支払

から

遅

延

した場合

に

は、

(3)税 及び 支払わ 課 徴 n る利子については、 金 は 課 され ない ア ル ゼ ンティ ン 共和 国 の租

極に され 七日 ごとに 初 額 期 債 3 年四月 日 行 の は 務 日 を 従 に た書簡 わ 支 に 本 日本 れ 払 六回 含 って繰り延 つ 玉 W は、 政 わ る む。こに 一日から千 支払 ての n 国政府 0 (以下 府 る。 千 均 は、 弁済 債 九百九十二年一月三十一 等 保 とアル 払 ベ 務 険 九 5 に 期 従前 救 を より支 れた商 限が 引き受け 九百九十二年三月三十 百九十二年三月三十一日 済 の書 ゼンティ 措 到 置 来した 業上 一に関 払 簡」とい た わ ン共 し千 の れることが ア か 債 ル 又は 務 う。こに 和 九 ゼ 日に ンテ に 国 百 九 到 関 政 . 日 行 より行 + 1 確 来 L 府との する わ 認 ま ン 一年二月二十 れ、 千九 さ で から四 0 間 n 利 の わ 商 引き る。 子 間 百 n で交換 業 九十 た取 半 (両 上 の 続 総 期 最 0

定 画上 に 前 従 記 の って支払わ の支払が遅延 利子の支払 n る。 した場 猶 予によって生ずる利子及 合の遅 延利子 は、 従 前 び 前 0 書 記 簡 の 支払 の 規

5 銀 行 支 手 払 数 計 料 画 は、 に 従 って 請 求 ż 行 われ n な る い 商 業 上 0 関 係 債 務 0 決済 に 伴う

債 務 者 が 支 払 計 画 に 従 つ て 繰 延 商 業 債 務 を構 成 する 債 務 を

> overdue amount at the rate of one per cent Government of the Argentine Republic will paragraph (1) above, is retarded, schedule of interest set out in submentioned in (a) of sub-paragraph (2) above. Payment Scheme, including the payment (1%) per annum above the rate of interest late interest accruing from the

clear of all taxes and duties of Republic. (3) The interest paid will be the Argentine free and

quarterly beginning on March 31, 1992. will be paid in six equal installments. of Japan (hereinafter referred to as "the Government of the Argentine Republic on arrangements made by the Notes exchanged commercial debts rescheduled pursuant to 4. It is confirmed that, with respect first payment will be made on January 31, 1991 and March 31, 1992, both dates inclusive, having fallen or falling due between April 1, commercial debts insured by the Government measures with respect to the Argentine February 27, 1991 concerning the debt relief between the Government of Japan and the Notes"), the total amount of the interest 1992. The consecutive payments will be to The the

will be paid in accordance with the provisions and the late interest in case any payment under the payment schedule above is retarded the payment of the interest mentioned above the Notes. The interest accruing from the deferment 0

settlement of the commercial debts concerned 5. No bank charges incidental to the in accordance with the Payment Scheme will

If the Debtors fail to take such measures

当該 決済 に をと ょ っ 債 す て指 る 5 務 な 0 た 総 定され か 8 額 っ ア を た ル た通貨で債 債 場 ゼ 務 合 ン 者に に テ は 1 代 ン 権 わ ア 共 ル 者 2 和 ゼン に支払 て支払 王 に テ お う。 計 1 V 画 T ン 共 必 12 和 要 従 ٢ 国 い 関 さ 政 府 係 n 契約 は る 措

7 除 な < 11 関 t 係 ほ のは 契約 の条件 引 き 関 続 係 き 契 のうちこの 約 適 用 の 当事 3 れ 者 書 る 2 間 簡 ٢ で に 別 お から 確 段 U の 認 T さ 合 特 意 れ に る。 言及さ から あ る 場 n 合 T を い

原契約の

8 ち る ょ で 債 あ に ŋ ア 与える。 権 有 る ル 者に 利 債 ゼ ンテ な 権 与 条 者 件 え に 1 を与 5 対 ン れ 共 L え る条件 債 和 た場合 務 玉 救済 政 ょ 府 一には、 り不 措 は、 置 利 に VI ず で 当 つ 該 な い n 第三国 T か い 条 2 0 件 (4)第 Ξ の に を 債 居 定 玉 住 権 め 0 者に 者で る 居 条 住 あ 件 直 者

9 日本 関係債権諸 む。)の ア 国 又は修 ル 再 政 編 府 ン とア 正 に 玉 テ に 政 関 1 つ 府 L ル ン ゼ 11 てアル の の て討議 代 ンティン 債 表 務 ゼン 者 つ こ する から 共 新 テ 0 ため たな結 ィン共和 和 取 国 極 の 政 が 協 府 論 対 国政 議 ع に 象と から の 達 行 府 間 L する た わ で の れる。 この 場 代 債 表 合 者及 取 に 務 極 は を 含 び の

協

議

代 わ 2 使 は、 て 確 認 閣 さ 下 n が n ば 前 幸 記 11 の 了解 で あ を りま アルゼ す ン テ 1 ン 共 和国 政 府

に

accordance with the Payment Scheme designated in the contracts of such debts to the Creditors on behalf of with the Payment Scheme, the Government of Argentine Republic will pay the total amount the Debtors in the currency or currencies Rescheduled Commercial Debts in accordance as are required in the Argentine Republic the settlement of any debts composing the concerned for

specifically referred to in this Note will conditions of the contracts concerned upon by the parties to the contracts concerned. remain applicable, unless otherwise agreed 7. It is confirmed that the terms and

Creditors the terms and conditions not accords to creditors resident in any third resident in such third country. favourable than those accorded to creditors Republic will measures, the Government of the Argentine paragraph 2 with regard to debt relief country terms and conditions more favourable 8. If the Government of the Argentine Republic than those referred to in sub-paragraph (4) forthwith accord to the less of

order to discuss the matter of continuation connection with reorganization of the of the Governments of the creditor countries modification of the present arrangements the Government of the Argentine Republic, in be held between the Government of Japan and the present arrangements, consultations Argentine debts including the debts covered concerned come to a new conclusion in the Argentine Republic and the representatives 9. If the representative of the Government of WILL Ϋ́α or

behalf of the Government of would confirm the foregoing understanding I should be grateful if Your Excellence the Argentine

て敬意を表します。本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向か

つ

千九百九十二年一月二十八日にプエノス・アイレスで

日本国特命全権大使 山本 学アルゼンティン共和国駐在

外務・宗務大臣 ギド・ディ・テラ閣下アルゼンティン共和国

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Manabu Yamamoto Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to the Argentine Republic

His Excellency
Mr. Guido Di Tella
Minister of Foreign Affairs
and Worship of
the Argentine Republic

(アルゼンティン側書簡)

(訳文)

次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。書簡をもって啓上いたします。本大臣は、本日付けの閣下の

(日本側書簡)

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向ティン共和国政府に代わって確認する光栄を有します。本大臣は、更に、閣下の書簡に述べられた了解をアルゼン

千九百九十二年一月二十八日にブエノス。アイレスでって敬意を表します。

か

外務・宗務大臣 ギド・ディ・テラアルゼンティン共和国

日本国特命全権大使 山本 学閣下アルゼンティン共和国駐在

(Argentine Note)

Buenos Aires, January 28, 1992

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honour to confirm on behalf of the Government of the Argentine Republic the understanding set forth in Your Excellency's Note.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Guido Di Tella Minister of Foreign Affairs and Worship of the Argentine Republic

His Excellency
Mr. Manabu Yamamoto
Ambassador Extraordinary and
Plenipotentiary of Japan to
the Argentine Republic

の返済を繰り延べることについての両政府の了解を確認したものである。 この取極は、我が国に対するアルゼンティンの債務の元本及び利子のうち一定のものにつき、そ